

「学習の友」学習会

静岡県労働者学習協会静岡支部

ニュース

2026.3.13 No.162

26 国民春闘 大幅賃上げで 働く者の命と暮らしをしっかりと守ろう!!



今回は3月号です。

特集記事「賃上げこそ日本経済を立て直す道」(井上伸国公労連書記)と、世界情勢記事「米国のベネズエラ侵略の真の目的」(新藤通弘ラテンアメリカ研究者)の2つを読み合わせ討論しました。

井上氏の記事は、「目で見える解説」としてグラフを豊富に使用して、26春闘を前にした国民・労働者の状況を解明しています。暮らしの問題として、物価高騰、実質賃金の連続低下などを上げ、「大幅賃上げの実現で生活改善を」と訴えます。特にケア労働者、ここでは看護師の全産業平均と比べ月22万6千円(55~59歳)も所定内賃金が低い、低賃金の実態を明らかにしています。これに対し、大企業の内部留保が581兆円(2025)

過去最高に溜まっている状態も明らかにし、「大幅賃上げに活用する」とともに「消費税減税や中小企業支援などの財源」とするよう訴えます。最後に政府財政にもふれ、26年度予算案が軍事費として9兆円を超え12年連続で過去最大とした反面、社会保障については消費税増税とともに改悪されており、「社会保障の財源としての消費税」という説明がつかない矛盾も明らかにしています。そして「社会保障費の拡充が必要です。」と結んでいます。



次回学習会は次のとおりです。26年4月号を持って
お気軽にご参加ください。

日時 “26年4月8日(水) 18:30~

場所 国労小会議室



今回は第二水曜日となります。お間違いなく。

無法者国家＝米国の ベネズエラ侵略

進藤氏の記事は、本年1月3日に米国がベネズエラのマドゥーロ大統領夫妻と国会議員1名を米国に強制連行した事件を説明し、「半年がかりの無法な軍事行動」と糾弾します。米国は1999年のチャベス政権成立以来ベネズエラの政権を敵視してきました。敵視政策の裏側には、世界最大の石油埋蔵量の獲得と反社会主義があります。ベネズエラ侵略の口実は、政権が「麻薬組織に関与している」ということでしたが、これは米情報機関の報告も否定しており、まったくの偽りだったようです。また、「大統領選挙は不正選挙」だとする口実や、「政権は独裁政権」だとする議論も、国際監視団の確認や野党の集会、報道、立候補の自由も保障もされており、政府の介入はないとの結果でした。大量出国問題というの、それを裏付けるはっきりしたデータはありません。経済も順調に回復しており、国民を保護するとする米国の介入理論はなりたちません。この紛争は「米国がベネズエラの主権と自決権を尊重し」「対等平等、内部問題不干渉の原則の上に立ち、相違点を話し合いで解決して協力して解決されるべきものです。」と結んでいます。

討論では次のような発言がありました。特集記事の討論「看護師は22万円も賃金が低いというのは、役職者が少ないのか、一般に賃上げが少ないのか。」「20代とかは高いのに、それから伸びないね。」「定期昇給が少ないのか。」「専門職なので異動が少ないのかね。」「

「所定内賃金だと賞与は入らない。」「ちなみに年金は14年間で、物価が17.2%増で年金は7.3%増で、実質9.9%の減額だ。来年度は、物価は3.2%、名目賃金が

2.1%増、低い2.1%を基準にしてマクロ経済スライド-0.2なので、1.9%しか年金は上がらない。厚生年金は2%」「企業別の内部留保だが、中身としては利益剰余金だ。トヨタが35兆8400億円。三菱UFJフィナンシャルG14兆8500億円。本田技研工業11兆1200億円・・・凄いよ。これに課税すべきとする主張は一般的には少ない。」などの発言がありました。ベネズエラ侵略の討論「日本での報道とだいぶ違うね。」「この前共産党志位議長が『ベネズエラの人権侵害がある』との見解を示したが、この記事

からは見えてこない。」「米国侵略後のベネズエラ政権が政治犯を釈放したとの報道があったが、その実態が

どうなのか。」「釈放は一部で、まだかなりの政治犯はいるようだ。」「ベネズエラの銀行の人口集計と国連の集計が500万人も違う。わからんね」「ニュースでも政権批判の集会デモがやられていた。それは、自由抑圧はないとわかるが、不当解雇など行われていないかなどは分からない。」「ロシアとか香港とかは法律で禁止されているが。」など、ベネズエラ政権の政治の実態に疑問がのこったとする意見が多数ありました。また議論はその後イラン問題、北朝鮮問題にも及びました。



www.Asahi.com より

